



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 rakumo株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4060 URL <https://corporate.rakumo.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 御手洗 大祐  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO経営管理部長 (氏名) 石曾根 健太 TEL 050 (1746) 9891  
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITA ※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	347	18.1	102	40.6	89	26.1	86	24.3	56	17.4
2023年12月期第1四半期	294	16.6	73	47.2	71	43.2	69	46.7	48	41.7

※調整後EBITA＝営業利益＋のれんの償却額（PPAによる取得原価配分後の各種償却費を含む）

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 62百万円 (23.7%) 2023年12月期第1四半期 50百万円 (26.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	9.77	8.47
2023年12月期第1四半期	8.36	8.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,693	1,428	52.8
2023年12月期	2,670	1,365	50.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 1,421百万円 2023年12月期 1,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

2024年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算出が困難であると判断したため、業績予想の記載は行っておりません。なお、詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	5,778,100株	2023年12月期	5,773,200株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	111株	2023年12月期	111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	5,775,741株	2023年12月期 1 Q	5,749,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費等一部に足踏みが見られるものの、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られる等、緩やかに回復しました。先行きについては、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開するソフトウェア業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化、テレワーク、DX等に関連したシステムへの投資需要拡大が引き続き見込まれます。ポストコロナでの「新しい働き方」の定着として政府は、テレワークの環境整備や活用、デジタル人材の育成、DXの加速等を進めております。

このような状況の中、当社グループは、『仕事をラクに。オモシロく。』というビジョンのもと、『次のいつもの働き方へ。』をミッションに掲げ、オフィスの生産性向上に貢献すべく、企業向けグループウェア製品「rakumo」、社内SNS型日報アプリ「gamba!」、IR動画配信システム「SmartVision IR」等の機能強化及び更なる拡販に注力しました。

販売面においては、自社セミナーの実施や、Google社及び販売パートナーとのセミナー開催等、売上増加に向けた関係強化に取り組みました。また、自治体や教育、医療、建設業等、業界を絞った各種営業・マーケティング施策にも積極的に取り組むことで、新たな案件創出に尽力しました。

加えて、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品の活用を促すための能動的なオンボーディング施策を実施する等、お客様満足度の向上や解約率の低減にも努めました。

なお、足元の為替相場における円安の著しい進行やインフレに伴い、サーバー費用や人件費を含む開発コスト、サービス提供費用等、各種費用の増加による事業環境の変化を受け、2024年4月1日より、一部rakumo製品の利用料金改定を行うことといたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高347,620千円（前年同期比18.1%増）、営業利益89,763千円（前年同期比26.1%増）、経常利益86,644千円（前年同期比24.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益56,427千円（前年同期比17.4%増）となりました。

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (SaaSサービス)

rakumo関連サービスにおいては、2024年3月末のクライアント数は2,486社（2023年12月末比44社増）、ユニークユーザー数は579千人（同16千人増）となりました。

売上増加に向け、自社セミナーや、Google社及び販売パートナーとのセミナー等を開催しました。また、自治体や教育、医療、建設業等、業界を絞った各種営業・マーケティング施策にも積極的に取り組むことで、新たな案件創出に尽力しました。

加えて、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品間連携を訴求したパック製品の販売強化、顧客属性に応じた能動的なサポート・オンボーディング（活用促進）施策を実施することで、新規クライアントの獲得や、ユニークユーザー数及びユーザー1人当たり単価の増加に取り組みました。

社内SNS型日報アプリ「gamba!」では、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能開発・追加にも積極的に取り組みました。また、AIビジョンにおいても、コンソーシアム体制を構築することで、サービスラインナップの拡充を行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は325,857千円（前年同期比24.2%増）となりました。

#### (ソリューションサービス)

当サービスにおいては、既存顧客への業務支援案件の縮小を図ったものの、SaaSサービスに関する導入支援案件等を継続的に受注できたことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,938千円（前年同期比1.6%増）となりました。

#### (ITオフショア開発サービス)

当サービスにおいては、SaaSサービスに注力したこと、また、本サービスの縮小も図ったことから、前期比で減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,825千円（前年同期比46.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,693,245千円となり、前連結会計年度末に比べ22,828千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が26,007千円、ソフトウェア(ソフトウェア仮勘定含む)が9,737千円増加した一方、のれん及び顧客関連資産が13,153千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,265,090千円となり、前連結会計年度末に比べ40,136千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が44,873千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,428,154千円となり、前連結会計年度末に比べ62,964千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益56,427千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は52.8%(前連結会計年度末は50.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月1日に公表しました「rakumo 一部製品 料金改定のお知らせ」の通り、2024年4月1日より、一部rakumo製品の利用料金改定を実施しております。2024年12月期以降の連結業績にも一定程度の影響が見込まれますが、現時点において信頼性の高い業績予想数値を算出及び公表することが困難であることから、2024年12月期の連結業績予想につきましては開示しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,888,966	1,914,974
売掛金	49,899	57,037
仕掛品	329	412
貯蔵品	202	203
その他	46,419	45,617
流動資産合計	1,985,819	2,018,246
固定資産		
有形固定資産	22,319	21,677
無形固定資産		
のれん	290,049	280,919
顧客関連資産	201,163	197,140
ソフトウェア	71,722	75,329
ソフトウェア仮勘定	10,331	16,461
無形固定資産合計	573,266	569,851
投資その他の資産	76,847	72,277
固定資産合計	672,433	663,806
繰延資産	12,164	11,192
資産合計	2,670,417	2,693,245
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	43,902	44,072
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	65,361	20,487
契約負債	524,138	526,117
賞与引当金	4,143	3,850
その他	85,743	83,131
流動負債合計	733,289	687,658
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	500,000	500,000
資産除去債務	11,205	11,252
その他	60,731	66,179
固定負債合計	571,937	577,432
負債合計	1,305,227	1,265,090
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	392,469	392,920
資本剰余金	353,319	353,770
利益剰余金	591,243	647,671
自己株式	△169	△169
株主資本合計	1,336,863	1,394,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	△65
為替換算調整勘定	21,352	27,109
その他の包括利益累計額合計	21,407	27,043
新株予約権	6,919	6,919
純資産合計	1,365,189	1,428,154
負債純資産合計	2,670,417	2,693,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	294,328	347,620
売上原価	104,007	120,902
売上総利益	190,321	226,718
販売費及び一般管理費	119,139	136,955
営業利益	71,181	89,763
営業外収益		
受取利息	8	10
その他	31	24
営業外収益合計	39	35
営業外費用		
支払利息	75	28
為替差損	793	1,250
投資事業組合運用損	647	701
その他	0	1,172
営業外費用合計	1,516	3,153
経常利益	69,704	86,644
税金等調整前四半期純利益	69,704	86,644
法人税、住民税及び事業税	14,957	17,659
法人税等調整額	6,686	12,558
法人税等合計	21,644	30,217
四半期純利益	48,060	56,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,060	56,427

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	48,060	56,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△120
為替換算調整勘定	2,226	5,756
その他の包括利益合計	2,099	5,636
四半期包括利益	50,160	62,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,160	62,063
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。